

# 北広島町人口ビジョン

2010年～2060年

# 北広島町総合戦略

2015年～2019年

概要版



## 北広島町人口ビジョン・北広島町総合戦略とは？

**本町の目標人口と、それを実現するための戦略を定めたものです**

人口ビジョンは、本町における将来人口のめざす方向性や目標人口を定めるもの、総合戦略は、「北広島町に住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを進め、目標人口を実現するためのプランのことです。



平成 27 年 10 月

広島県北広島町

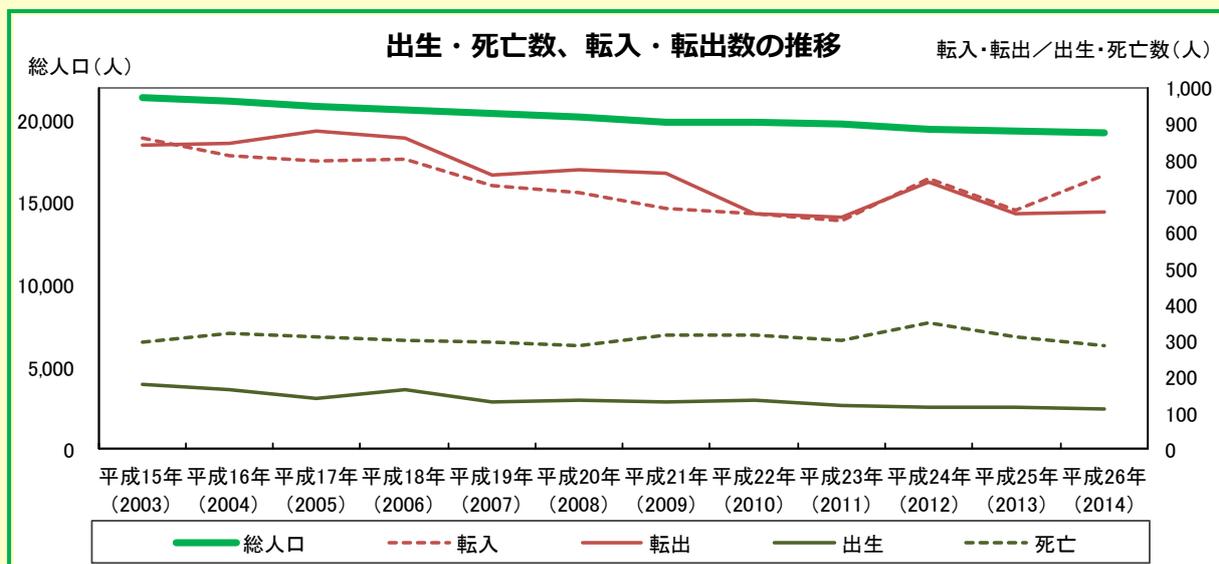
北広島町イメージキャラクター  
はなだもうたろう  
花田 舞太郎

# 北広島町人口ビジョン

## 1. 人口の現状は？

総人口は、平成27年10月1日現在で19,447人となっており、減少傾向で推移しています（住民基本台帳）。

本町における人口減少は、死亡数が出生数を上回る「自然減」であることが要因の一つです。一方で、これまで転出数が転入数を上回る、もしくは拮抗する状況でしたが、近年は転入数が転出数を上回る「社会増」であるため、人口減少のスピードを抑えていることがわかります。



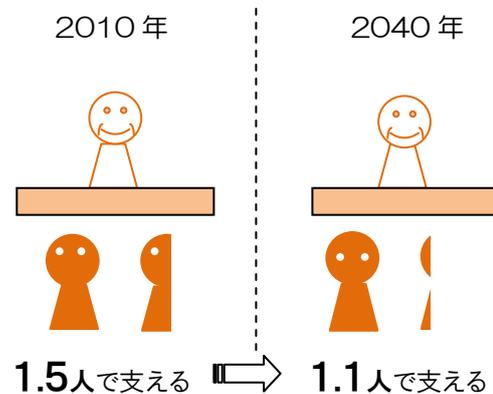
資料：広島県市区町村別人口及び世帯数（年報）

## 2. 今後も人口減少が続くとどうなる？

今後も現在の状況が続くと、2040年には現役世代（15歳から64歳）1.1人が高齢者（65歳以上）1人を支えるという状況が予想されます。

こうした人口減少・少子高齢化は、地域生活を支える様々な活動に支障をきたすことが予想されます。

### 高齢者を支える模式図

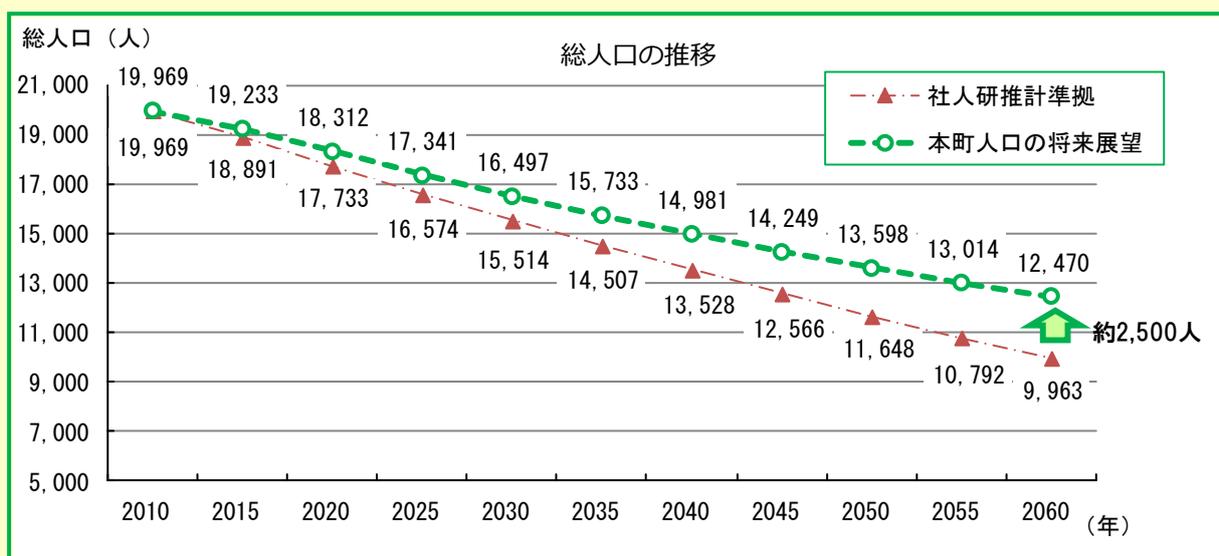


### 3. 人口の将来展望

#### 本町人口の将来展望

**2040年に14,981人**  
**2060年に12,470人**をめざします

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計は、現在の状況が今後も続くと仮定した場合の人口推計です。社人研の推計では、2040年に13,528人、2060年に9,963人まで人口が減少すると推計していますが、本町では子どもを産み育てやすい環境づくりやずっと暮らし続けたいまちづくりを町全体で取り組むことで、2040年に14,981人、2060年に12,470人が本町で暮らすことをめざします。



下記の「めざすべき将来の方向」を踏まえ、「本町人口の将来展望の実現をめざします。」

#### — めざすべき将来の方向 —

- (1) 「北広島町での暮らし」を選択する定住者の増加
- (2) 「結婚・出産・子育ての希望」をかなえられる環境の整備
- (3) 高齢化・過疎化に対応した、生活機能を維持できる地域づくり

# 北広島町総合戦略

## 1. 総合戦略の内容は？

### 基本目標 1 心響くしごとづくりと産業の魅力発信

本町に定住する人を確保するためには、まず「しごとづくり」が大切です。雇用の場を確保するための産業振興策や、新しく事業を始めようとする人への支援、就業希望者の確保や農林畜産分野の振興に向けて取り組みを推進します。

#### 目標

町内企業の求職者数に対する就職成立者数の割合の増加  
(平成 25 年度 32.4%⇒平成 27～31 年度 37.4%)

#### 方向 1 しごとの育成・創業支援

製造業関係や農林業を中心に強化し、事業継続や販路開拓への支援等により地域経済の活性化を図り、雇用の確保に努めます。また新たなビジネスや農林畜産事業の創造等を通じて経済産業の向上をめざします。

#### 主な取り組み・事業

- ビジネス創造支援事業
- 北広島町商工会と連携した支援体制の強化

#### 方向 2 主要産業への就業促進

本町での雇用割合が高く、生産額の大きい製造業関係を中心に、就業希望者の増加に向けた各産業の紹介や魅力発信等を行い、就業促進を図ります。

#### 主な取り組み・事業

- 産業フェア開催事業
- 就職から住まい、暮らしまでパッケージ提案による就業促進

#### 方向 3 農林畜産分野のブランド化と人材の確保

本町の農産物の高付加価値化を推進し、生産額の拡大と利益確保に向けて取り組みます。また、新規就業者の確保や兼業就農の促進、農地の耕作放棄地や森林の荒廃の発生防止・解消や再生可能エネルギーの利用促進に取り組みます。

#### 主な取り組み・事業

- 新規就農総合対策事業
- きたひろしま軟弱野菜ブランド構築事業
- 森林資源の活用の充実



新規就農者によるトマトの収穫

## 基本目標2 キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進

本町に定住する人を確保するためには、「しごと」があることに加えて、“北広島町に住みたい”という他市町村にはない独自の魅力や、本町を知ってもらうための“きっかけ”が大切です。本町をもっと知り、訪れてもらうため独自の資源を活用した魅力づくりと定住につなげる仕組みづくりを構築します。また、次代の本町を担うひとと夢を育む教育の環境整備を進めます。

### 目標

#### 北広島町への転入超過数

(平成 22～26 年の転入超過数合計 108 人⇒平成 27～31 年の転入超過数合計 140 人以上)

#### 本町への転入者のうち「転入してきてよかった」と思う人の割合の増加

(平成 27 年度 63.2%⇒平成 31 年度 70.0%)

### 方向1 ひとを呼び込む「きたひろしまの魅力」発信

本町への転入を考えるきっかけを提供できるよう、観光地や伝統文化、民泊体験やお試し住宅等を通じた交流人口の拡大を図り、本町で暮らすことの魅力を発信します。

また、交流人口を移住・定住につなげるための相談体制の充実や、住宅の整備、助成を行います。

#### 主な取り組み・事業

- 農山村体験交流事業の拡充
- 北広島観光プロモーション事業
- 伝統芸能による活性化



農山村体験交流事業

### 方向2 ふるさとを愛する心と夢を育む教育の推進

子どもたちがふるさとを愛し、夢を育むことができる学校づくりをめざします。また、子どもたちが一緒になって地域と関わりを持つ機会等をつくることで、地元へ愛着をもち、将来にわたり本町に住みたいという思いや仲間意識を深めます。

こうした夢を育む素地として、社会教育の見地からも、住民がふるさとの自然、歴史、文化の魅力を感じられる環境整備、情報発信を進めます。

また、本町に所在のある高等学校の魅力向上を支援します。

#### 主な取り組み・事業

- 小中一貫教育推進事業
- 北広島ふるさと夢プロジェクト事業
- 地元高等学校支援事業



北広島ふるさと夢プロジェクト事業

## 基本目標3 結婚・出産・子育てを幅広く応援する環境の整備

人口を確保するためには、本町への転入を増やすことに加えて、結婚や子育てをする人を増やす観点も大切になります。本町で結婚・子育てをすることの魅力や情報の発信、妊娠から出産までの切れ目ない支援に加え、子育て支援策の充実、地域ぐるみで子育ての支援をします。

### 目標

「子育てに不安や負担を感じない」と思う人の割合の増加  
(平成25年度 49.8% ⇒ 平成31年度 60.0%)

### 方向1 結婚支援

結婚希望者の希望をかなえられる環境を整備するため、学生や未婚の社会人に対し、結婚を前向きにとらえ、自身の人生設計を考える機会、本町に住み、結婚・子育てをしたいと思ってもらえるような情報の提供、出会いの場を提供します。

#### 主な取り組み・事業

- 結婚支援活動補助事業
- 「魅力アップ講座」の展開
- 気軽に参加・交流のできるイベントの開催



### 方向2 安心して出産・子育てのできる環境づくり

相談・健診の体制やの充実や経済的負担の軽減により、健やかで安全な出産を推進します。「北広島町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子育て支援サービスを充実するとともに、地域で子育て家庭を支える意識づくり、世代を超えた交流を促進します。また、子育てに係る負担軽減に向けた経済的支援を実施します。

#### 主な取り組み・事業

- 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援事業
- 子育て世代包括支援センター事業
- 命の授業など啓発事業
- ファミリーサポート事業、病児・病後児等保育事業(拡充・強化)
- 児童医療費助成制度の拡充
- 保育所等の適正配置と質の強化・特色づくり
- 障がい児支援体制、保育相談業務の強化



町内年長児の交流保育の様子

## 基本目標 4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出

さまざまな施策や取り組みにより、転入者や子育て家庭の増加が見込まれる場合においても、少子高齢化や地方での過疎化は今後避けられない問題です。本町で暮らす人が、健康でいきいきと暮らすことができるよう健康づくり・元気づくりをまちぐるみで取り組むとともに、集落全体の活性化のための支援や買い物弱者や外出のしにくい方を支援するための取り組み、災害時の地域での助け合いの促進を図ります。また、ひとが集まる魅力ある拠点の整備を進めます。

### 目標

介護認定率の低下 (平成 27 年 23.8% ⇒ 平成 31 年 22.7%)

集落活性化支援地域数 (平成 26 年度 2 箇所 ⇒ 平成 27~31 年度 のべ 20 箇所)

### 方向 1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成

いくつになっても自分らしく生き生きと暮らし続けることができるよう、健康づくりに向けた意識啓発や健康づくり・元気づくりを地域で行えるための場づくり、組織づくりを進めます。また、地域課題の解決を担う人材育成に取り組みます。

#### 主な取り組み・事業

- 元気づくり事業の拡充
- まちを元気にする地域リーダーの育成
- 集落支援員と協力隊を核とした地域活動の推進



元気づくり事業

### 方向 2 安全・安心な住環境の構築

認知症の方や単身高齢者、高齢者のみ世帯への見守り体制の強化や行政や警察、地域住民等が連携した防犯・防災への取り組み、持続可能な医療を確保し、地域包括ケアシステムの構築、公共施設の更新問題への対応や空き家対策を実施します。

#### 主な取り組み・事業

- 安全・安心なまちづくり事業
- 北広島町地域見守り事業



### 方向 3 ひとが集う生活拠点の充実と支援の強化

生活や買い物、居場所や福祉機能を集約した施設（小さな拠点）の配置に向けた検討や、移動が困難な方の買い物や郵便・金融機関等の利用を支援する仕組みづくりを進めます。

#### 主な取り組み・事業

- 都市計画区域内用途地域見直し策定
- 役場本庁周辺整備検討
- 公共交通網見直し策定事業

## 2. 総合戦略の推進方針

### — 北広島町総合戦略の推進方針 —

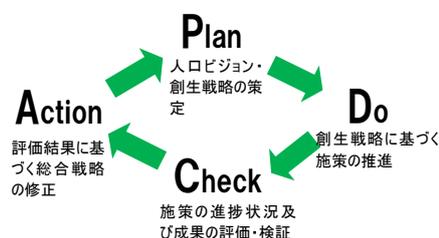
- 総合戦略の取り組み・施策を定めるにあたっては、本町の豊かな自然に恵まれた環境、受け継がれてきた多くの誇りある歴史・文化など、大都市にはないさまざまな地域資源を活かすことを基本的な考え方とします。
- 本町で新しく暮らし始める人や、地域の高齢者や子ども、若者、子育てをしている人、働く人など、一人ひとりがおもつ個性や多様性を尊重し、実現したいことがかなえられるまちづくりを推進します。
- これらの考え方を基本とし、住民が地域づくりに積極的に関わり、協働でまちづくりを進めていくことにより、だれもが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりをめざします。

## 3. 総合戦略を推進するうえで大切なことは？

### PDCA サイクルを回しながら、実効性の高い戦略・取り組みとします

戦略を策定し(Plan)、取り組みを実際に行い(Do)、進捗状況を定期的に評価・検証し (Check)、戦略を改善する (Action)、PDCA サイクルを回すことで、実効性の高い取り組みとします。

#### PDCA サイクルのイメージ



### 住民、地域、団体、企業、行政など町全体で協働して取り組みます

庁内の策定・推進組織として、町長を本部長とする「北広島町総合戦略チーム」を置くとともに、町内各界各層とともに推進・検証をしていくため、住民代表や産業界、大学、金融機関等で構成する有識者会議として「北広島町まちづくり総合委員会」を設置しています。

お問い合わせ先

〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田 1234

北広島町役場 企画課政策立案室

TEL (0826) 72-2111 IP(050)5812-1856

E-mail kikaku@town.kitahiroshima.lg.jp

